

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	第1回 令和7年7月24日(木) 第2回 ①令和7年8月26日(火) ②令和7年9月7日(日) ③令和7年9月13日(土) ※①～③のいずれかにおいて1日以上実習を行う。上記実習日に都合がつかない場合は、受講者が設定した実習場所にて実習を行う。 第3回 令和7年10月16日(木) 第4回 令和7年11月22日(土)		
事業名	令和7年度「ちば学びサポーター」養成講座		
趣 旨	県民の生涯学習の成果を生かし、公民館等の社会教育施設、地域学校協働活動、NPO・団体等における地域社会での活躍を促進し、地域における生涯学習を支える人材の育成を図るため、講師力や企画力を養う講座を実施し、講座修了者を認証する。		
会 場	千葉県総合教育センター(千葉市美浜区若葉2-13) さわやかちば県民プラザ(柏市柏の葉4-3-1)		
対 象	生涯学習ボランティア(※)として地域活動を目指す方 ※自らの生涯学習を通じて学んだことを、社会のために(主に学習の支援にかかる活動)に生かすボランティア活動のこと		
申込方法	Web申込み		
募集定員	30名	募集期間	令和7年7月11日(金)締切り
参加者数	第1回 12名 第2回 12名(各実習に参加した計) 第3回 12名 第4回 11名	参加費用	
講師 等	岩崎 久美子 氏 【放送大学教養学部 教授】		
実施内容	<p>主催:千葉県教育委員会</p> <p>内容: 第1回「講座の企画・運営のポイント、地域課題の検討」をテーマに、講座の講師として活動していくにあたり大切なポイントについて学んだ。</p> <p>第2回は、「ちば子ども読書の集い」・「さわやか青年教室」・「ちばアカデミア講座」のイベント及び講座のいずれかに受講者が参加し、運営補助等の実地実習を行い経験を積んだ。</p> <p>第3回は、「事業広報のポイント、企画書づくり」をテーマに、ちば学びサポーターとして関わる講座やイベントの企画方法について、グループワークを通して学んだ。</p>		

	<p>第4回は、受講者自ら企画した講座を全員が発表し、相互に評価・研鑽を行った。最後に講師である岩崎先生からご講評をいただき養成講座を終了した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【グループで企画書の検討中】</p> </div><div style="text-align: center;">  <p>【作成した企画を発表中】</p> </div><div style="text-align: center;">  <p>【認定式後の記念撮影】</p> </div></div>
<p>参加者 アンケート</p>	<p>【満足度80% (講演満足度80%、実習満足度80%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参考文献や実例をたくさん出していただき、とても理解しやすかったです。 ○地域に学びの場をつくる意義について、考える時間をいただいて感謝しています。挨拶ができるコミュニティや集いづくりが、社会教育の大切な目標になるとあらためて知りました。ファシリテーターの役割も勉強になりました。企画書づくりのポイントもわかりやすかったです。ありがとうございました。 ○理論的な理解、実践的なディスカッション、表現的手法等々よく理解できました。 ○身近な話を交えてくださるので、自分事としてとらえやすいなと感じました。今後の参考になりました。 ○イヴァンさんの話、心に残りました。目の前のしかけの華やかさに目を奪われず、お互いの心が豊かであるかどうか、気に留めるようになりたいと感じました。先生ゆるやかで温かな雰囲気をつくってくださって感謝しています。また、とてもリラックスさせてくださいました。人が皆発言しやすい雰囲気づくりに、リラックスさせてあげるのって大切ですね。ありがとうございました。 ○実際の活動を見させていただき、自分自身の活動にも生かせる点が多くあったので参加できてよかったです。 ○多彩な能力・実行力に驚きました。そういう方が集まってきたんだと思いますが1回の実習で聞けたことが有益で楽しかったです。
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「社会教育の定義や生涯学習の理念など基礎的な知識・技術の習得」「現場で活用できる実践的なスキルの習得」については、参加者アンケート結果から、「理解できた」「ほぼ理解できた」割合が80%以上であった。講座内容の充実や講師の話しが分かりやすかったことが要因であると考える。 ・第1回講座では、ファシリテーションの意義や手法について学びを深めた。講師として活躍するにあたり、場をデザインすることは大切であるため、有意義な内容であった。 ・第3回講座では、講座やイベントの企画書を作成した。「ちば学びサポーター」として認証を受けた後、各自で活動していく際の参考になると考える。

- ・第4回実習では、第3回講座で考えた講座やイベントの企画を受講者各々が発表した。
- ・参加申込者数については、昨年度が29名だったのに対し、今年度は12名であった。参加人数は減少したがその分発言しやすくなった。また個々の企画発表を実施するなど内容は充実した。
- ・修了者の地域の生涯学習に関わる機会を増やす一助とするため、修了者数名に施設ボランティアへの登録を勧め、来年度以降の事業へのサポートをお願いした。

【課題・今後の方向性】

- ・受講者への「ちば学びサポーター」認定証を最終回に授与できるよう準備する。
- ・今年度のように講演2回、実習2回（うち1回は受講者による発表）という講座内容で実施する場合は、定員の人数を20名程度にする必要があると考える。それ以上の人数になってしまふと各々の発表機会が確保できなくなる。
- ・修了者に、当所事業の講師等をお願いすることも検討する。
- ・受講者で講座の講師を希望する方には、ちばりすネットプラスでの講師登録について紹介したが、必要があれば今後の活動について相談を受け付ける。
- ・実地実習の在り方、講座内容と講師選定については、今後の検討事項である。
- ・第4回の開催時期が三連休の初日であったため、受講者のアンケートにも「改善が望まれる」等の意見があった。来年度は検討する必要がある。